

令和8年度の活動体制～この体制で取り組みます～



阿部副部長・白崎部長・遠山(義)副部長
(センター所長) (庶務課長)

庶務課 TEL 0254-26-9162



渋谷・諸本係長・遠山課長・小野

普及課 担い手・経営支援グループ
TEL 0254-26-9163



土田(花き)・大平(畜産)・萩原(野菜)
長崎課長代理(6次化)・齋藤課長(作物)

第2地域農業推進グループ
(聖籠町担当) TEL 0254-26-9126



鈴木(作物)・佐藤(慶)課長代理(野菜)・橋本(果樹)

普及課 第4地域農業推進グループ
(胎内市担当) TEL 0254(26)9157



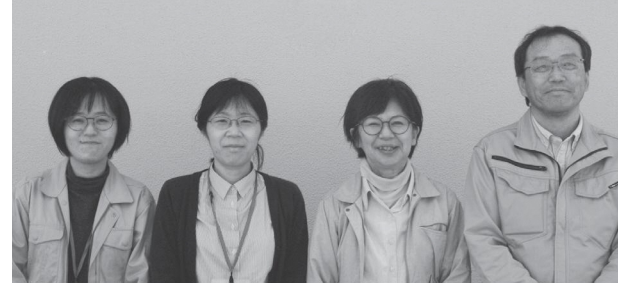
山口(作物)・春川課長代理(花き)・本間(野菜)

農業企画課 TEL 0254-26-9156



谷企画専門員(村上駐在所 兼務)・小林・多田
波多企画専門員・遠山課長・平山

生産振興課 TEL 0254-26-9153



深谷・大勝・宮腰課長・工藤

第1地域農業推進グループ
(新発田市担当) TEL 0254-26-9155



七尾(畜産)・渡邊課長代理(作物)・宮木(果樹)・佐藤(義)(畜産)

第3地域農業推進グループ
(阿賀野市担当) TEL 0254-26-9158



高橋(作物)・青木(野菜)・梅澤課長代理(畜産)・富樫(畜産)

お世話になりました

- ・羽鳥 雅幸(退職)
- ・小林 義則(退職)
- ・窪田 香織(新潟地域振興局)
- ・増田 浩吉(退職)
- ・橋立 淳志(佐渡地域振興局)
- ・小池 洋介(農業大学校)
- ・菅沼 茂幸(退職)
- ・加藤 玲(柏崎地域振興局)
- ・村山 康則(佐渡地域振興局)
- ・鷲尾 雄一郎(村上地域振興局)
- ・関川 正規(退職)
- ・田村 あやめ(経営普及課)
- ・松永 英明(選挙管理委員会)
- ・鈴木 央子(新潟地域振興局)
- ・渡邊 真美(園芸研究センター)
- ・白井 康(退職)

() 内：退職または転出先

新発田 農業普及指導センターだより

新発田農業普及指導センター
(新発田地域振興局農業振興部)

新発田市豊町3-3-2
TEL 0254 (26) 9163 FAX 0254 (22) 2670

URL <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shibata-nogyo/>
E-mail ngt111340@pref.niigata.lg.jp

No.96
2026.5

地域でがんばる農業者

阿賀野市 音田寛貴さん ～地域を支える青年農業士として～



【阿賀野市で園芸を営む音田さん】

令和7年度の栽培概要(面積、出荷量)	
野菜苗：700坪、3.5万本	きゅうり：175坪、4.5 t
笹神なす：90坪、0.5 t	ミニトマト：180坪、1.5 t
メロン：140坪、1.5 t	ほうれんそう：140坪、1.5 t

阿賀野市で園芸の担い手として活躍する、青年農業士の音田寛貴(おんだ ひろき)さん(37歳)は、平成25年に親元就農し、園芸専業農家として両親と3人で農業経営に取り組んでいます。

栽培作物は、きゅうり・なす・ミニトマト・メロン・ほうれんそうなど多岐にわたり、さらに野菜苗の生産も行っており、地域にとって欠かせない苗の供給元としても重要な役割を担っています。

主な販路は農協や直売所への出荷で、直売所では自ら店頭で野菜を並べることもあります。中には、販売を心待ちにしているお客様もいらっしゃるそうです。

特にミニトマトは人気があり長年のファンもいることから、「今年も甘くておいしい野菜を届けたい」という思いで日々の栽培に取り組んでいます。音田さんのミニトマトは、完熟で糖度の高い状態で収穫され、多くのお客様に喜ばれています。

また、令和元年度から青年農業士として活躍しており、地域農業を支える若手農業者として日々奮闘中です。



【トマト収穫作業の様子】

【令和8年度の普及活動に向けて】

新発田農業普及指導センター所長 阿部 浩一

先般公表された2025年農林業センサスでは、本県の個別経営体数や基幹的従事者数が5年前に比べ2割以上減少した一方で、一経営体当たりの経営面積や大規模法人数が増加したことなどが示されました。

当普及指導センターでは、これら生産構造の変化に加え、近年常態化する異常気象への対応など農業者の皆様や地域が抱える課題の解決を図り、将来にわたって若者に選ばれる農業・農村になるよう、新たな体制のもと職員一丸となって、関係機関・団体と連携して取り組んでまいります。

本年度もよろしくお願いします。



令和8年度 新発田農業普及指導センター重点課題の紹介

◇普及活動3つの推進事項◇ 普及指導センターでは、①力強い農業構造の確立と中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり、②収益性の高い魅力ある農業経営体の育成、③農業人材の確保・育成に向けた地域の受入体制づくりの3つを推進事項とし、これらに関連する市町毎の課題に重点的に取組んでいきます。

地域計画の核となる経営体の収益性向上：担い手・経営支援グループ



【県外先進経営体の視察研修会】

地域農業を支える農業法人の経営安定と、収益性の向上を図るためには、①経営規模の拡大②環境変化に対応した栽培技術の見直しによる品質・収量の安定化③労働力の確保が大きな課題となっています。

令和8年度は、モデル経営体に対し、規模拡大に伴う栽培技術の見直しや、高温対策による品質・収量の安定化に向けた取組

を支援します。あわせて、新規雇用者の人材育成や定着を図るため、当部が主催する園芸参入塾等を活用した栽培技術の習得や若手生産者との交流を図るとともに、就業規則の整備や人材育成計画の実践を支援していきます。



【園芸参入塾等を活用した
従業員の人材育成】

外部人材の育成・定着を通じた営農体制の整備：第3地域農業推進グループ

阿賀野市大日・村杉地区では、外部人材である地域おこし協力隊員の定着を図るため、受入体制の整備を進めています。

令和6年度に着任した隊員は、令和7年度に里親の下で稲作を中心とした栽培技術を習得するとともに、任期終了後の就農に向けた計画の策定を開始しました。



【いちじくの挿し木作業を実習中】

令和8年度は関係機関と連携しながら、営農技術の習得に加え、地域との関係づくりを支援し就農定着を目指します。

また、市内の他地区でも4人の隊員が着任していることから、就農後の安定的な所得確保を見据え、阿賀野市「うららの森農園」を活用した園芸栽培技術の習得や隊員個々の意向に応じた営農計画の策定等、市全域での受入・定着に向けた取組を支援します。



【うららの森農園での研修風景】

ほ場整備地区での観光農園計画策定を支援：第1地域農業推進グループ

新発田市では、多くの地区でほ場整備事業が進められており、担い手による省力・低コストな稲作の実現に加え、園芸作物の導入による経営の安定化が求められています。

令和7年度は、新発田土地改良区管内のほ場整備3地区を対象に、「スマート農業」「園芸生産体制」「観光農園」「異業種交流」の推進に向けた検討を支援し、協議会の設置や規約整備など、取組を進展させるための体制づくりが進みました。

令和8年度は、これらの取組のうち観光農園計画の策定を重点的に支援します。前年度に整理した課題を踏まえ、関係者間で対応方針を共有しながら、実現性の高い計画づくりを進めます。先進的な経営体の育成を図るとともに、ほ場整備と連携した地域のモデル事例となるよう取り組みます。



【仙台市での観光農園視察の様子】

果樹産地の維持・発展に向けた担い手の確保：第2地域農業推進グループ

聖籠町は、県内一の出荷量であるおうとうを始めとした歴史ある果樹産地であり、観光農業も盛んに展開されています。

しかし、近年は、気候変動の影響や栽培者の高齢化により、産地の縮小が懸念されています。令和6年に実施したアンケートでは、将来的に栽培面積を縮小または離農を考える経営体が一定数おり、若い担い手も少ないことが分かりました。

一方で、意欲ある担い手に園地を貸してもよいとする意向も確認されました。そこで令和8年度は、貸し手となる組合員の園地情報を整理し、担い手とのマッチングを図るためのリスト化に向けた支援を行います。

あわせて、新規就農者や規模拡大を目指す担い手への支援を一体的に行うため、関係機関が連携した営農相談体制の強化を図っていきます。



【関係者でおうとう産地の課題を検討】

集落を超えた地域活性化の取組を推進：第4地域農業推進グループ

胎内市の中山間地域にある鼓岡・大長谷地区では、高齢化の進展により、農業の担い手不足や集落機能の維持が大きな課題となっています。

そこで15集落を対象に、令和3年度から令和7年度までの5年間、「ビレッジプラン2030」に取り組み、令和5年には全集落で構成する「夢ビレッジ胎内290」を設立しました。集落の枠を超えて課題を共有し、獣害対策や地域交流事業などを実施してきました。

令和7年度からは国交付金事業を活用し、ラジコン草刈り機の導入実証や地域産品のPRを兼ねた交流事業、地元大学生と連携した共同作業を行う仕組みづくりを進めました。

令和8年度はラジコン草刈り機の運用体制の検討や、棚田オーナー制度「おむすび」の活動実証などを行い、地域活性化をさらに進めていきます。



【ラジコン草刈り機導入実証の様子】

【おしらせ】

○ 水稻生育速報公式LINEについて

水稻生育速報の公式LINEでは、稲作の生育状況や管理情報・緊急情報などをお届けしています。

下記の友だち追加用URLまたは、QRコードから新発田農業普及指導センターの友だち登録をお願いします。（登録は無料です）

アカウント名：新発田農業普及指導センター (@649lkqdr)

友だち追加用URL：https://page.line.me/649lkqdr

○ 新発田農業普及指導センターホームページについて

新発田地域振興局農業振興部では、農業技術情報や研修会・イベント情報、新発田地域の「旬」の農産物情報等、ホームページで随時発信しています。ぜひご覧ください。

https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shibata-nogyo/



友だち追加用 QRコード